

税理士から届いた試算表、社長はここだけ確認

5分でわかる 試算表3か所チェックシート

毎月の試算表を「眺めて終わり」にしないための記入式シート。

電卓と5分だけで、会社の変化の方向をつかみます。

CHECK 1

粗利率

稼ぐ力の質

CHECK 2

現預金の増減

今の体力

CHECK 3

販管費カバー率

(簡易)

営業段階の余白

RMCビジネスラボ（中小企業診断士・認定経営革新等支援機関）

<https://rmcbl.net/>

このシートの使い方

大切なのは「正確さ」より「毎月同じ基準で見続けること」です。

月次試算表は、決算整理前の数字である場合があります。減価償却、棚卸、未払費用などが月次では反映されていない会社もあるため、決算書と完全に同じ見方ができるとは限りません。それでも、毎月同じ条件で数字を見ることで、変化の方向には気づきやすくなります。

用意するものは3つだけ。**今月の試算表**（損益計算書・貸借対照表）、**このシート**、**5分**。記入は電卓で十分、千円単位のざっくりで構いません。

最初に確認してください — 「当月」と「累計」

試算表の損益計算書には、「当月の数字」と「期首からの累計」が表示されている場合があります。**本シートでは、原則として当月欄を使用します。**

累計欄しかない場合は、

今月累計 - 前月累計 = 当月の金額

として計算します。

表示方法が分からない場合は、顧問税理士または会計担当者にご確認ください。

毎月の5分は、この順番で。

- ① 粗利率を出して、前月・前年同月と比べる（2分）
- ② 現預金の増減を出して、理由を一言で書く（2分）
- ③ 販管費カバー率を出して、1.0との距離を見る（1分）

CHECK 1

粗利率 — 「稼ぐ力の質」を見る

売上の増減より先に、利益率の動きを見ます

$$\text{粗利率 (\%)} = \text{売上総利益} \div \text{売上高} \times 100$$

今月の売上高（当月） _____ 千円 / 売上総利益（当月） _____ 千円

→ 今月の粗利率 _____ % （前月 _____ % / 前年同月 _____ %）

見るのは水準そのものではなく「動き」です。

☐ 前月・前年同月と比べて、維持～改善している

☐ 下がっている → 理由を一言で書けますか？（値下げ／原価上昇／商品構成の変化…）

理由： _____

売上が増えていても、粗利率が下がり続けているなら、「忙しいのに残らない」方向へ進んでいるサインかもしれません。逆に、売上が横ばいでも粗利率が改善していれば、稼ぐ力の土台は整いつつあります。

CHECK 2

現預金の増減 — 「今の体力」を見る

残高の多さではなく、増減の理由に注目します

$$\text{今月末の現預金} - \text{前月末の現預金} = \text{増減額}$$

今月末 _____ 千円 - 前月末 _____ 千円 = _____ 千円（増・減）

大事なのは、**増減の理由を一言で説明できること**です。減った場合、どれに当てはまりますか？

- ☐ 売掛金の回収がずれた・在庫が増えた
- ☐ 仕入・経費・税金の支払いが重なった
- ☐ 設備投資・借入金元本の返済をした
- ☐ **説明が見つからない → ここが一番の確認ポイントです**

利益が出ていても、現預金は減ることがあります。売掛金や在庫の残高、借入金元本の返済は、損益計算書だけでは現金への影響を把握しにくいからです。「利益と現金は別もの」——この感覚を毎月の記入でつかんでいきます。

CHECK 3

販管費カバー率（簡易） — 営業段階の余白を見る

売上総利益で、毎月の販管費をどの程度賄えているか

$$\text{販管費カバー率} = \text{売上総利益} \div \text{販売費及び一般管理費}$$

売上総利益（当月） _____ 千円 ÷ 販管費（当月） _____ 千円 = _____ 倍

売上総利益で、販売費及び一般管理費をどの程度賄えているかを見る**簡易指標**です。

1.0を上回る：売上総利益が販管費を上回っている状態

1.0：売上総利益と販管費がほぼ同額の状態

1.0を下回る：売上総利益だけでは販管費を賄えていない状態

1.0は、売上総利益と販管費がほぼ同額になる境目です。**1.0を上回っていても、借入金元本の返済、設備投資、税金などを考慮すると、十分な資金が残るとは限りません。**まずは自社の数値を毎月比較し、1.0に近づいていないか、前月より低下していないかを確認してください。

- ☐ 1.0を下回っていないか
- ☐ 3か月連続で低下していないか
- ☐ 低下した理由を説明できるか

営業外収益・営業外費用、税金、借入金元本の返済などは、この指標には含まれません。あくまで**営業段階の簡易的な確認**としてお使いください。

3か月つづける記入シート

1か月は「点」、3か月で「線」になります

項目	月	月	月
売上高（当月・千円）			
売上総利益（当月・千円）			
粗利率（％）			
現預金 月末残高（千円）			
現預金 増減（千円）			
販管費（当月・千円）			
販管費カバー率（倍）			
今月の気づき（一言）			

利用上の注意

本シートは経営状態をつかむための簡易チェックであり、税務・会計上の判断を示すものではありません。勘定科目の分類は会社ごとに異なるため、迷う場合は顧問税理士にご確認ください。税理士の記帳・申告業務と、本シートの「数字を経営判断につなげる」視点は役割が異なります。両方が揃って、会社の数字は活きます。

次の一歩（任意です）

記入してみて「この数字をどう読めばいいか」「ここからどう手を打つか」を話したくなったら、初回30分の無料相談（オンライン）をご利用ください。シートの結果を一緒に読み解きます。相談後に継続支援を利用するかどうかは任意です。

→ [初回30分の無料相談はこちら](https://rmcbl.net/contact/)

<https://rmcbl.net/contact/>

発行：RMCビジネスラボ（中小企業診断士・認定経営革新等支援機関）

決算書・月次試算表を読み解き、経営課題と優先順位を整理する「経営定期健診」を提供しています。

<https://rmcbl.net/>

2026年7月版